

移動体通信/コールセンターへの統合サービス

ボヴィス・レンドリース・ジャパンは、急激な発展を遂げる日本の通信部門での豊富なメンテナンス経験、ならびに技術的専門知識を有しており、あらゆる顧客の通信ニーズに対応するプロジェクトソリューションを提案し、独創的かつ最良の成果を提供しております。

2001年より、当社では無線機ベンダーであるノキア・ジャパンに対し、関西、東海、東北、中国、四国地域において7,000を超える第三世代（3G）基地局のロールアウトメンテナンス業務を提供してまいりました。これは世界初となる3G携帯ネットワークの大規模展開であり、ボヴィスはBTS（Base Transceiver Station）、RNC（Radio Network Controller）の据付、単体試験、対向試験を実施しております。



このノキアにおけるロールアウトメンテナンスサービスでは、工程管理、無線機器設備、オペレーターとの窓口業務、工事管理、技術支援などプロジェクト全体に関わる業務を世界トップクラスのスピード、品質両面を確保しつつ提供してまいりました。

また一方、ボヴィス・レンドリースは世界有数の携帯オペレーターであるボーダフォンに対しても総合的なプロジェクトメンテナンスサービスを2002年後半より開始しており、2003年に概ね全国で10000局に及ぶ3G携帯の新局/併設局を第1フェーズとして完成しています。

当プロジェクトにおいて当社は、現地での建設工事を始める前段階として、あらゆる角度から施工方法、費用効率を総合的に評価するプログラムを実施することで、高い技術的性能、品質基準を維持しながらも、尚且つボーダフォンの設備投資大幅削減に貢献することに成功しており、その業務内容には、建設地調査、建設地のオーナー交渉、設計、行政申請業務、建設工事、無線工事工程管理等が含まれています。

そしてこの第1フェーズ成果により、ボヴィスは更に5000局の追加業務を受注いたしました。

携帯電話ネットワークソリューションの他に、当社は日本の建設産業での豊富な経験を元に、全国で数々のインターネットデータ、コールセンターを完成させています。

通信部門における当社の成功の鍵は、下記に示す通信業界で求められる3つのキーポイントを網羅する最善のソリューションを提供できる力にあるといえます。

- システムユーザーのニーズ
- 限られた条件/環境での最善のシステム設置設計
- 通信システムに対応しうる高度な技術知識

